

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
第2回(平成30年度)みはらスポーツ大会			みはらスポーツ大会実行委員会				
事業目的	事業効果	活動指標	H28	H29	H30		
美原区の新たなコミュニティの創造を推進し、地域でつながり、次世代へつなげる美原のまちづくりのため、スポーツを通じて区民の相互理解・交流を図る。また、校区を一つのチームとして、校区間で競うことにより、校区への帰属意識を醸成し、校区を単位とする地域のつながりを強化する。	各校区が勝利をめざして一丸となることで、校区の結束力と校区への帰属意識を醸成する。また、試合を通じて、他の校区の住民と交流を深めることができ、校区の枠を超えた繋がりを強化することも期待できる。加えて、スポーツを通じて区民の健康意識を高め、健康の維持増進を図ることができる。	選手出場者数(人)	—	107	183		
		アンケート結果(「とても楽しかった」「楽しかった」の割合)(%)	—	82	80		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	美原区区民評議会の平成28年度答申に基づく事業である。	◎	校区自治連合会代表者、各校区スポーツ推進委員、及び各校区からの推薦者と区役所(副区長)により構成される実行委員会、区民と協働で企画・運営している。大会当日についても、実行委員自らが出場者の受付や会場内アナウンス、得点係として大会の運営等に当たった。	◎	昨年度に引き続き「ディスコン」を採用し、多数の出場者を呼び込むことができた。また、昨年度の課題であった「若年層の参加率の低さ」を解消するため、「子どもの部」を創設。結果、51人の子ども達が本大会に参加し、幅広い年代の区民が交流を深める絶好の機会となった。	◎	「ディスコン」を競技種目とするにあたり、大会当日の試合進行を堺市ディスコン協会に協力依頼したことで、公式ルールに則り、円滑に試合を遂行することができた。
⑤自立発展性	総合評価						
—	本事業は、行政と区民の協働事業であり、区民の自主的な活動が求められるものについては、積極的にその促進を図っている。	◎	実行委員会が中心となって、競技種目や試合形式等の企画・運営を行い、堺市ディスコン協会との連携のもと、区民と行政の協働で概ね滞りなく開催することができた。次年度以降、アンケートの意見を踏まえ、より満足度の高いスポーツ事業として成長させていきたい。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	「子どもの部」を創設したことで、大人と子どもが一堂に会し、ハイタッチをして歓声が沸く場面も見受けられるなど、ディスコンを通じて世代間交流を深め、地域のつながりを強めることができた。今後もアンケート結果を参考にしながら、競技種目を始めとした事業内容の検討を重ね、より活気に溢れた大会にしていきたい。						